

管理者としての自覚と責任、

新時代の情報ツールの利用と運転管理手帳の携行

愛媛県大洲市 愛媛舗道株式会社
小林 哲之

管理データの把握 常時対応する姿勢

事業所の交通安全を維持確保する責任者としての安全運転管理者は、常日ごろから自分が管理する運転者や車両にかかわる情報を把握してきたいものである。事務所のデスクで保管する管理台帳を開いて見なければ正確なことがわからないというのでは、いざという緊急時に手間取ることもなろう。

勤務中であるなら、いついかなるときでも自分が管理している人と車のことを把握し即座に対応できる状態にしておきたいものである。

そのためにはできるだけ正確で使いやすい情報ツールの活用が必要になる。現在には携帯用の端末が非常に進歩してきた

入されるからであった。

このような手帳を紛失、放置するようなどは決して許されない。管理者は日ごろからそのような重要事項を預かっているという自覚を持つてほしいということとを強調して配布した。

ようだから、自分なりに工夫して運転管理への利用法を考えたしている人もあろうかと思われるが、私が大洲市と愛媛県の協議会長であった時期は主に「運転管理手帳」等の携行を奨励したものだ。

この手帳は安全管理関連の出版等を行う会社の制作によるもので、内容と作り方にいくつかのバリエーションがあったようだが、いずれも安全運転管理者にとって貴重なツールだと思われたのであった。読者のなかにも所持しておられる方が多いかと思われるが、この手帳には一般的な機能のほかに、管理する運転者約30名、車両約20台のデータを記録する欄があり、付録として関連道路交通法の要点や、自動車そのものの種類や交通ルール、同違反の知識、安全点検、保険、事故証明、示談等の知識、各地の安全運転

センターの連絡先なども参考資料として掲載されている。

重要な守秘義務 受講記録の改善

私は、事故防止を進めるためにはそのような手帳を生かすことが必要だと考えた。さいわい理事会の賛同を得て購入することにしたが、この手帳を利用するに当たっては情報の管理に十分な注意が欠かせない。手帳のなかのリストには運転者の生年月日、血液型、免許証番号、免許の種類、発行した公安委員会、更新期日、自宅と緊急連絡先の電話、違反や事故などの個人情報が入り、車両台帳としては、登録番号、車種、購入年月日、車検有効期間、保険情報、保管場所等の車両体系つまり重要な企業情報が記



小林哲之(こばやし さとし)さんのプロフィール
1942年(昭和17年)愛媛県大洲市生まれ。愛媛舗道株式会社社長。大洲高校から麻布獣医科大学(現・麻布大学)に進み65年卒業と同時に父君が創業し経営する愛媛舗道株式会社入社、83年社長となり今日に至る。早くから交通安全の重要性に目を向け81年大洲安全運転管理者協議会会長に就任(在任25年)、89年愛媛県安全運転管理者連絡協議会副会長(同12年)、2001年より会長(同5年)をつとめ、愛媛県高速度道路交通安全協会副会長(同5年)なども歴任した。事業所の運転管理を中心に地域社会における安全活動の推進力となつて強いリーダーシップを発揮し、その功勞により2005年春の第45回交通安全全国運動中央大会においては全国優良安全運転管理者協議会の代表として表彰状を受けた。



市川興一

命の大切さを 炭坑節に託す

また、毎年1回の「安全運転管理者講習」受講記録の様式を簡便にした記憶もよみがえってくる。それまでは、講習後、受講者に手書きで名前を書いた証書を手渡していたのであるが、時間も手間もかかっていたので簡便な「安全運転管理者手帳」方式に改めるようにしてもらった。10年以上の「安全運転管理者講習の受講記録」という欄を設け、講習年度ごとに証明スタンプを捺すという本文8頁の軽便な手帳である。3頁にわたって「安全運転管理者が処理すべき業務」と「安全運転管理者の選任・解任」という仕事の基本も書き込まれている。

なんだか堅い話が続いたので、話題を変えよう。盆踊りで現在も人気のある「炭坑節」の話である。いま、われわれが炭坑節と呼んでいるのは、民謡研究者の町田嘉章先生によれば、本来「北九州炭坑節」のうち伊田・三池炭鉱で唄われた「選炭節」というものだそうである。

「月が出た出た」で始まる有名な小節はその5番目に当たるもので、その前にも、つらい夜の探炭から帰り愛児の寝顔に疲れを癒される父親の姿を唄った「ガ

ラス窓から月がさす 坊やの寝顔の愛らしさ 起そか覚そか寝せおこか 思案半ばに明けの鐘」というような心うつつ文句がある。私が交通安全を願ってつくった炭坑節の替え歌は次のようなものである。この替え歌をプロの民謡歌手に吹き込んでCDにしてもらった。思った以上に調子のよい歌になっていて、高齢者向けをはじめ、あちこちに配布して聴いていただいている。

「交通安全炭坑節」

- 一、月が出た出た月が出た ヨイヨイ 三池炭鉱の上に出た ヨイヨイ
- あんまり煙突が高いので さそやお月さん煙たかる サノヨイヨイ ヨイヨイ
- 二、あぶないよ気をつけよう道歩くとき ヨイヨイ
- 車は急にとまれない あの道この道交差点 右左よく見て渡りましょ サノヨイヨイ
- 三、うっかりと不注意は命取り ヨイヨイ けがして苦しむのもごめんだね 人の命は宝だよ
- 自分で我身を守りましょ サノヨイヨイ

(続く)